

復旦大学

アジア共同体論

実施期間：2013年9月~2013年12月

- 09/09 第一講 序論：「アジア共同体の創生」  
講座の設置趣旨、全般の展開についての説明——徐静波氏
- 09/16 第二講 いま何故東アジア共同体か、その原点を考える  
——鄭俊坤氏(ワンアジア首席研究員)  
人間についての根源的な理解  
個人 国家 国民の関係  
ナショナル アイデンティティと地域統合  
国民国家を超えて
- 09/23 第三講 東アジアから全アジアへ向ける(経済協力の視点から)  
——樊勇明氏  
東アジア地域の経済協力  
東アジアと南アジアとの連動  
中国、日本、韓国そしてアセアン、インドなどとの連携から  
全アジアへ
- 09/30 祝日 (国慶節)
- 10/07 第四講 「東アジア共同体」についての中国の構想  
——石源華氏  
運命共同体の共通性を強調  
経済連携から政治の合作へ  
文化の要因を最大限する  
東アジア共同体のビジョン
- 10/14 第五講 東アジア民族間の和解と東亜共同体の構築  
——胡令遠氏

歴史認識の開きを埋める  
対話と外交交渉は領土問題解決の道  
民間交流を活発化して共通認識を深める

10/21 第六講 アジア共同体の創成における異文化交流の役割

——蔡敦達氏

異文化をいかにして見るか  
端午節の中日韓比較  
相互尊重・理解・交流の重要性

10/28 第七講 「東アジア文化圏」は幻なのか

——徐静波氏

東アジア文化圏の歴史的な由来  
東アジア文化圏の現状と問題点  
伝統的東洋の価値観とユニバーサルの価値観との融合

11/04 第八講 アジア共同体の創生へ向かって

(中央アジア諸国と中国の関係を中心に)

——趙華勝氏

歴史的に中央アジア諸国と東アジアとの交流  
中央アジア諸国と中国との経済的協力  
中央アジア諸国と中国との関係の成り行き

11/11 第九講 アジア共同体創成における民間交流の役割

——蔡建国氏

アジア共同体構築における民間交流の重要性  
民間交流の役割と限界  
NPO、NGO 活動と民間交流

11/18 第十講 アジアの経済発展と協力 (産業再編を中心に)

——張浩川氏

アジアの経済成長と産業構造  
中国の経済成長と産業構造の再編  
経済成長とアジアの協力

11/25 第十一講 アジアの文化交流(文学作品の翻訳を中心に)

——施小炜氏

書物の翻訳は文化交流に不可欠の手段  
日本の文学作品の中国語訳について  
文学作品の翻訳を通してアジア諸国の理解促進への期待

12/02 第十二講 アジア伝統文化の継承 (食文化を中心に)

——徐静波氏

アジア伝統文化の継承  
中日韓の食文化の異と同  
食文化を通じての相互理解

12/09 第十三講 インド・中国の立ち上がりとアジア共同体の創生

——杜幼康氏

BRICS 中のインドと中国  
立ち上がりつつあるインドと中国がいかに付き合うべきか  
中印関係のアジアへの影響

12/16 第十四講 戦後アジア経済の発展 (東アジアの視点から)

——魏全平氏

戦後アジア経済の出発  
日本の高度成長と NIEs の台頭  
中国経済の発展とアジア経済との関係

12/23 第十五講 アジアの言語 (日本語教育を中心に)

——厩志春氏

漢字 かな ハングル——中日韓言語の異と同

漢字を通じての相互理解ができるか  
日本語教育の問題点

12/30 第十六講 アジア共同体の夢とビジョン

——佐藤洋治氏(ワンアジア理事長)

アジア共同体創成のためのビジョン

学生各自レポートを提出